

第 23 回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

グラウンドソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和6年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名及びプレイヤー15名以内(男女は問わない。)とし、ほかに専任のコーチャー4名以内、スコアラ－1名及びマネージャー1名を設けることができる。
- (2) 監督がプレイヤーを兼ねる場合は、プレイヤー名簿に登録されていなければプレイヤーとして出場できない。この場合のプレイヤー人数は、プレイヤーを兼ねる監督を含めて15名以内とする。
- (3) 参加申込書の提出後は、登録プレイヤーの変更を認めない。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦及び交流戦を実施する。
- (2) 試合は7回までとし、試合開始後 80 分(決勝・3決は 110 分)を経過した後は、新しい回に入らない。7回終了時、同点の場合は8回からタイブレークにより試合を延長して行う。
- (3) 試合開始後 40 分(決勝・3決は 55 分)を経過した場合は正式に試合が成立したと認める。
- (4) 同点の場合は、試合終了時に出場していた両チームのプレイヤーが最終回の守備位置順に抽選し、勝敗を決定する。
- (5) 指名打者(DH)及び再出場(リエントリー)を採用する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチャー及びプレイヤーは、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は 30 番、専任のコーチャーは 31 番から 34 番、主将は 10 番とし、他のプレイヤーは1番から 99 番の番号とする。また、ユニフォームの左袖に都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) 競技中、コーチャーズボックスにいるコーチャーは、黄色の帽子を着用すること。
- (4) スコアラ－及びマネージャーは、ユニフォームを着用してはならない。

- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。
- (6) 危険防止のため、競技中のプレイヤー(コーチャー含む)は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等、危険と思われるものを着用してはならない。

5 試合球

試合球は、全日本グランドソフトボール連盟公認球とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和6年7月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

7 打順表等

- (1) 打順表は試合開始時刻 30 分前までに5部作成し、各球場の競技本部へ提出すること。ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること。なお、打順表は、監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守順の決定は、打順表の提出の時に審判員立会いのもと決定する。
- (3) 視力区分(全盲・弱視)の登録は、打順表の提出をもって行う。

8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

9 その他

- (1) 令和6年10月25日(金)に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、プレイヤー、監督、コーチャー、スコアラー、マネージャー以外は入場することができない。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) アイシールド、全盲プレイヤー標示物、黄色標示物、コーチャー用帽子及び練習球は、各チームで用意すること。
- (6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 少雨の場合は決行するが、荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。